

## 令和4年度 第2回二宮町政策評価委員会 議事要旨

開催日時	令和4年11月30日(水) 10:00~12:05	
開催場所	二宮町役場 第1会議室	
出席者	委員	出席5名 大田 博樹 委員、高橋 哲夫 委員、太田 久美子 委員、 井通 隆正 委員、友野 恵美子 委員 欠席2名 山本 秀樹 委員、佐々木 栄一 委員
	町	政策部長
	事務局	政策部企画政策課3名
傍聴者数	0名	
会議次第	1. 開 会 2. 委員長あいさつ 6. 議事 (1) 二宮町総合戦略評価に対する意見等について (2) その他 8. 閉 会	
配布資料	資 料1 施策に対する事前意見のまとめ	

## 【議事要旨】

(1) 二宮町総合戦略評価に対する意見等について

(主な意見交換等)

※ ◎：会長、○：委員、●：事務局

### 基本目標1 ひとが集い、安心して暮らせる魅力的な地域をつくる

施策：公共施設のマネジメントと新たな魅力の創出

- 地域活動において、高齢者向けの企画のほか、PTAの方が小学生のお子様を連れてきたりしているが、中高生に対する行事が欠落している。中高生が地域や二宮町に愛着をもってもらうためにも、その世代が楽しむことができる環境をつくるのが重要ではないか。
- 東大果樹園跡地は、近所のファミリー層や高齢者の利用はあるものの利用率は非常に低い状態であるから、PTAや自治会からも小中学生に対して、果樹園跡地のグラウンドでできる事を周知するなど、ポイントを絞った周知をしていくべきである。
- 新庁舎整備は、大規模災害時におけるライフライン等の要であるから、財源など課題はあるかと思うが、町民の生命を守るために必要なことであり、早急に進めるべきである。なお、確認として、役場庁舎を含め、これまでの耐震診断結果などにより、建て替えや改修を必要とする施設はどの程度存在しているのか。
- 平成7年の阪神淡路大震災以降、学校や保育園等を中心に耐震化を進め、ほとんどの施設の耐震化が完了しています。後回しにされた役場庁舎は平成26年ぐらいにようやく着手し、耐震性等を確認していたところ、基準を満たしておらず、耐震補強等も難しいという結果となり、取り組みを進めているところです。
- ◎ 集約した意見にもあるとおり、役場庁舎は安全な場所として確保されておらず、多くの町民が不安を感じているということもあるので、本委員会ではこの点も意見として強調したい。
- ◎ 評価委員会としては、「拡充」ということでよろしいか。  
(異議なし)

施策：地域で支えあう体制の構築

- 地域では、伝統や慣習による相互扶助の取り組みを行っていたが、独居老人等の増加に伴い、取り組みの見直しをする必要がある。行政は先進事例的なものを導入する傾向にあるが、継続性やコスト面からも、元々あったものの良さを再認識し、取り上げる意識が必要である。
- ◎ 評価委員会としては、「継続実施」ということでよろしいか。  
(異議なし)

#### 施策：地域コミュニティの醸成支援

- 地域の役員や消防団は、今までのやり方だけでは人が集まらない状況になっている。さらに、昼間に活動できる消防団員や防災隊員を確保するためには、女性の登用を進めることが重要であると考えている。そのためにも、従来のあり方を見直し、時代に沿った形で女性が参加し易い環境を整えていくべき。
- ◎ 集約した意見にある、「地域の特徴に合わせた評価」や、「将来的な町の姿を考えつつ教育のあり方を考慮すべき」という意見はそのとおりだと考える。これらの意見が強いようであれば、拡充へ評価を変えても良いと思うがいかがか。
- 例えば、一色小学校区地域再生協議会は役員が様々なアイデアを出したり、多くの住民を緩やかに巻き込んだりしながらうまく機能していると思うが、活動の参加者は高齢が多いという課題もある。他の地域でも様々な課題があることから、地域ごとにアプローチを行い、地域ごとに評価を行っていくべきである。
- ◎ やはり地域のコミュニティ力が重要である。若い新しい人をどのように地域コミュニティに巻き込んでいくのか、仕組みづくりが必要になってくる。
- ◎ 評価委員会としては、「継続実施」ということでよろしいか。  
(異議なし)

#### 基本目標2 新しい人の流れを生む魅力あるまちをつくる

##### 施策：二宮らしい魅力の創出と発信

- 二宮には吉田五十八邸や同氏が設計した建築物があったり、著名な作家も数名お住まいだったりするので、このようなものも観光資源とすることはできないか。また、二宮ブランドなどは、今あるものを模倣したようなありきたりのものではなく、特別なものをやっていかなければ魅力は発信できない。移住者の中にはカメラマンなどのアーティストも増えてきているので、そのような情報を的確に掴んで、クリエイティブなことを提案して欲しい。
- ◎ 確かに模倣できるということは、特徴がなくなってしまうことから、やはりオンリーワンを目指していくべきだと思う。  
二宮らしい魅力を発信することはとても大切だが、他自治体も同様に行っているのであれば、どうしても平均的になってしまうと感じる。
- ◎ 評価委員会としては、「継続実施」ということでよろしいか。  
(異議なし)

##### 施策：特色ある教育活動の推進

- ◎ 例えば二宮学のようなものを立ち上げて、それを課外授業として行うなど、何か特徴のあるプログラムとしなければ、特色ある教育とは言えないのではないか。
- 最近では生涯教育講座が賑わっており、小さい規模の講座に幅広い年代の参加者がいるのを目にする。話題として多いのは二宮の歴史を知りたいといったようなもので、ここの施策は義務教育を対象としているとは思いますが、このような生涯学習に

についても目を向けた方が良いのではないかと思います。

- 生涯学習に関することについて、次の第3次総合戦略策定の際の参考となることから、意見書の中に入れさせていただければと思います。
- 昔は、見識のある社長や教授、仕事を早期リタイヤした方などを講師として、小中学校で授業をしてもらっていたと記憶している。今はあまりやっていないようだが、このような取り組みによって、子どもにとってある種の憧れとなる人ができれば、それを目標として勉強のモチベーション増加につながるのではないかと思います。
- ◎ 神奈川大学でも様々な小学校に一日授業のような形で教員を派遣しており、二宮町とも包括連携していることから希望があれば派遣は可能である。今のご意見のとおり、子どもたちが教養を身につける場があることはとても良いことかと思う。
- 今の出前講座等は、行政側からの働きかけで学校側は対応可能なのか。
- 学校の授業で対応するかどうかの判断は、最終的に学校長判断となってきますが、教育委員会から学校に情報提供することは可能です。そのためにもまずは役場内に制度を周知するという意味でも意見書に記載する意味はあるかと考えます。
- ◎ 他にも小中学生に大学に来てもらって1日大学生体験をするという企画もあり、先ほどの生涯学習のご意見も含め、これらは意見書に入れていきたいと思う。
- ◎ 評価委員会としては、「拡充」ということでよろしいか。  
(異議なし)

### 基本目標3 出産・子育てを支え、子育てを楽しめる環境をつくる

#### 施策：妊娠から子育てまでの切れ目のない支援

- 総合戦略が人口減少を食い止める目的のためのもので、それを達成するために子どもの数を増やしたいという考えから様々な KPI を設定しているが、例えば転入の数だけでなく、転出との比較など、もっと詳細な KPI が必要と考える。  
なお、東海大学附属大磯病院に産科が無くなったことにより、利用者は遠い場所に通うことになり大変苦勞をされている。こういった問題に対し、何らかの対応はできないものか。また、今後徳洲会への事業継承がされるにあたり、産婦人科の新設に関する情報等を町で把握していないか。
- 徳洲会病院への事業継承について、現在、町として産科と小児科設置を要望していますが、それが実現するかどうかはまだわからない状態となっています。
- ◎ 集約した意見の中で、ヤングケアラーについて意見されている方が複数名いますが、これに対して町として何か対策はしているか。
- ヤングケアラーへの対応は重点的に取り組まなければならないこととして認識しています。課題となっていた個人情報共有についても、関係機関との情報共有を優先することが法律で定められている児童虐待と同様に整理していくことで、対象者の抽出や関係機関との協力がとれる体制に整えたところです。
- ◎ 評価委員会としては、「拡充」ということでよろしいか。  
(異議なし)

#### 施策：仕事と子育ての両立支援

- 待機児童数を KPI として設定しているが、これだけでは適正な評価ができないため、受け入れ余力など、より深く施策の進捗が判断できる数値目標の設定をすること。
- 各園において定員の設定はあるものの、実際は入所希望者の家庭環境や保育園の保育士数などの細かい状況によって入所者を決定しており、定員に対する入所者数を公表すること必ずしも簡単ではないことをご承知おきください。
- ◎ 評価委員会としては、「継続実施」ということでよろしいか。  
(異議なし)

#### 基本目標 4 地域産業の振興を図り、仕事を生み出しやすい環境をつくる

##### 施策：地域商工業の活性化

- 二宮ブランドについて、例えば、商店の利用者が一目でこれは認定商品であるとわかるような表示などはあるか。
- 二宮ブランドの認定を受けている場合は、お店や商品に認定マークを掲げることができる事になっています。
- 今の二宮ブランドには決定的に優れたものが存在していないように感じる。最近ではオリーブを特産として掲げているが、生産性が上がらないという課題もある中で、例えば落花生や玉ねぎなどといった、元々あるものに目を向けてブランドとして育てていくことを考えた方が良いのではないか。
- ◎ 確かに昔からあるということは、その地域に適したものであるということなので、一商品にこだわらずに色々な特産品を開発していくことは良い方法であると思う。
- 今はブランドの品数を増やしていく段階であるかと思うが、これからはそのブランドを活用して、どう二宮を PR しながらイメージアップにつなげるかという戦略を考えるべきかと思う。また、オリーブについては、二宮だけでなく、近隣の自治体と協力して広域的に進めているということなので、引き続き取り組んでいくことが良いのではないか。

次に、KPI について、町内事業者の雇用創出数を町として把握するのが難しいということだが、例えば、起業支援や経営支援を行った企業に協力していただくことで、企業の方からそのような数値を提供していただくなど、様々な方法を考えていくようにしていけば良いのではないか。

- ◎ これまでの意見で、認知度があまり高くない点や、オリーブの育成に関する課題など、様々な改善に関する意見があったことから、現状、継続実施が多いものの、拡充の考えも持ってらっしゃる方も多いように思う。

意見書の内容としては、昔から存在する商品についても注目し、品数を充実させつつ PR 戦略に力を入れていくことを含めていくということを記載していく。

- ◎ 評価委員会としては、「拡充」ということでよろしいか。

(異議なし)

#### 施策：地域農林業の活性化

- ◎ KPI の設定は非常に重要なことであり、それが1つだけではミスリードを招きかねないことから、複数の指標があって、様々な角度から評価を行えるようにした方が良い。
- 特産品としてオリーブに力を入れるのであれば、もっと色々な取り組みが必要であると思う。また、二宮の林業がしいたけ栽培であるということをごここで初めて知ったので、そのようなこともアピールしていても良いのではないかと。
- 農業が上手くいっている地域は、作物の生産時期における地理的優位性も関係している面もあるが、二宮はそのあたり少し不利であると言える。ただ、消費地が近いことや、有機栽培に特化した農家が増えているという優位性もあるので、町や農業振興を行う機関が、二宮のアドバンテージを活かした提案をしていくことが重要であると思う。二宮は、朝収穫した新鮮な作物が手に入り、生産者の顔を知ることができるという大きな魅力も有しているのだから、こういったことをきちんと発信していく必要がある。
- ◎ 都市部に近いことから、鮮度は付加価値となるかもしれない。有機栽培などといった付加価値を付けていかなければ、これから先残っていくことができなくなってしまうと思う。地元に住んでいると、そのような付加価値に気が付きにくいので、それを気付かせてくれる存在が必要と感じる。ただ、すべてを行政でやるには限界があるので、民間の方や二宮のファンをつくり、そこから独自に発信していくような形でやっていかないとこれからは厳しいのではないかと。
- ◎ 町としては、農業に対し、例えば後継者問題や作物の栽培状況把握、関係機関との連携など、どの程度アプローチを行っているのか。
- 例えば、オリーブについて、どの程度剪定していくかなどといった、栽培系の講習会を農協と連携して開催しています。また、遊休荒廃農地の対応についても、マップ化することで情報を集約し、活用に向けて取り組みを行っています。
- ◎ オリーブのような気候の影響を受けやすい作物を取り扱う場合でも、集団経営を行うことでリスクヘッジが可能となるので、そういったことも検討するのも良いのではないかと。
- ◎ 評価委員会としては、「継続実施」ということでよろしいかと。

(異議なし)

#### (2) その他

- 意見書の組み立てとして、各施策に対するご意見とは別に、総論として全体に関するご意見を記載する部分があります。この総論については、これまでの審議会で特に議論となった部分である、「地域の活性化」、「施設再編及び新庁舎建設」、「KPI

の設定」の3点に主眼を置いて事務局で取りまとめていきたいと考えています。取りまとめた意見書案は、次回の会議でお示しさせていただきます。

- 総論に関して、これまで委員会で審議を行った中で、色々な施策に対してKPIがどのように繋がっていくのかについて多く議論があったことから、その繋がりをもっとわかりやすくしてほしいということを入れるように。
- このことについては、現在策定中の第3期総合戦略に確実に繋げていくことが重要であるかと思っておりますので、意見書に記載させていただくとともに、次期戦略策定の参考とさせていただきます。
- 総論に関して、これまで分析的なことを個々やってきた訳だが、そうすると全体像がぼやけてしまいがちであるから、これまでの意見がしっかりと反映されたものをお願いしたい。
- 次回の会議については、あらためて日程調整をさせていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

今後のスケジュールについて、第3回では今回のご意見を取りまとめた意見書案を皆様にご審議いただきたいと思いますと思っておりますが、あわせて総合計画に関する行政評価についても次回又はその次にてご評価いただければと考えております。

【以 上】